

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									
Q-1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温設定									
2 稼働稼働・適温制御性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 湿度・湿度制御									
6 個別制御									
7 時間外空間に対する配慮									
8 騒音対策									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 照度調整の可視化									
2 昼光制御									
3.3 照度									
1 照度									
2 照度均斉度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染									
2 有害物質対策									
3 VOC対策									
4 レンガ対策									
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 騒音対策									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
2.3 適切な更新									
1 屋上・屋根・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.3	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				最大の階高を確保			3.6	0.50	
1 階高のゆとり							4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ							3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性							3.0	1.00	
1 空調配管の更新性							3.0	0.17	
2 給排水管の更新性						3.0	0.17		
3 電気配線の更新性						3.0	0.11		
4 通信配線の更新性						3.0	0.11		
5 設備機器の更新性						3.0	0.22		
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.22		
G-3 室外環境(敷地内)						0.30			2.6
1 生物環境の保全と創出		G				2.0	0.40		2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G				3.0	0.20		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						3.0	0.40		3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S			3.0	0.50		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G				3.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性									3.5
LR-1 エネルギー							0.40		4.6
1 建物の熱負荷抑制	W			性能評価4等級を確保		5.0	0.40		5.0
2 自然エネルギー利用						3.0	0.20		3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W					3.0	0.50		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S			3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化	W			潜熱回収型の給湯設備を使用している。		5.0	0.40		5.0
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
LR-2 資源・マテリアル							0.30		3.1
1 水資源保護						3.6	0.15		3.6
1.1 節水	W			節水型器具を使用している。		4.0	0.60		
1.2 雨水利用・雑排水再利用						3.0	0.40		
1 雨水利用システム導入の有無	W					3.0	0.67		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W					3.0	0.33		
2 低環境負荷材						3.0	0.85		3.0
2.1 資源の再利用効率						2.3	0.35		
1 躯体材料の再利用効率	W					3.0	0.67		
2 非構造材料の再利用効率	W					1.0	0.33		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W					3.0	0.04		
2.3 有害物質を含まない材料	W					3.0	0.08		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W					3.0	0.18		
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切壁・断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。		4.0	0.18		
2.6 フロン・ハロンの回避						3.5	0.18		
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。		4.0	0.50		
2 断熱材	W					3.0	0.50		
3 冷媒	W								
LR-3 敷地外環境							0.30		2.6
1 大気汚染防止	W					3.0	0.10		3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.05		3.0
2.1 騒音						3.0	1.00		
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照障害の抑制						1.6	0.10		1.6
3.1 風害の抑制						1.0	0.70		
3.2 日照障害の抑制						3.0	0.30		
4 光害の抑制				外部の過度な照明をなくした。		5.0	0.05		5.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S			1.0	0.30		1.0
6 地域インフラへの負荷抑制						3.6	0.40		3.6
6.1 雨水処理負荷抑制	W					3.0	0.30		
6.2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.10		
6.3 交通負荷抑制				駐車場および駐輪場の収容台数を充実させた。		4.0	0.30		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	ゴミ置場および一時保管場所としてトランクルームを設けた		4.0	0.30		
■ LR-1 用途別得点表									
				集合住宅					面積按分
				2,748 m ²					総合スコア
1 建物の熱負荷抑制				5.0					5.0
3 設備システムの高効率化				5.0					5
3.1 空調設備									
3.2 換気設備									
3.3 照明設備				5.0					
3.4 給湯設備				5.0					
3.5 昇降機設備									